

1. 保育の計画（R4年度）

評価・反省

- ・フリーの先生方と全体の保育の流れ、個別の支援について共有し、日々の保育に活かしている。
- ・素材の準備や室内遊びの環境づくりは、変化を付けることがあまり出来ていなかった様に感じる。
- ・日々の保育・活動・援助の振り返りや反省が習慣になっていてより良い保育を目指すことが出来た。環境構成への注目が欠けており、マンネリ化していた。
- ・園の教育理念や方針を細かく知らない為、常に頭に入れて子どもや保護者様と向き合っていきたい。
- ・週末や放課後、保育内容を確認したりクラスの様子等を話すことが出来たと思う。要領については、もう少し見て意識して保育したいと思う。
- ・週末には学年で話し合うことが多く有る為、連携が取れているので今後も行っていきたい。
- ・自分のクラスでは公開保育がなく、他の職員からの評価を受ける機会が少なかった。しかし、他のクラスの保育を見て自分の保育と照らし合わせる事が出来た。環境設定では、折り紙・廃材など用意出来たが今後は、もっと充実させていきたい。
- ・常に子どもの姿、成長を共有すると共に、前任の担任の助言やアドバイスを頂き一人ひとりの理解に努めた。
- ・初めて担任する学年で有ったため分からないことも多く、その都度学年の先生に聞いて足並みをそろえる事が出来る様にした。
- ・好きな事・得意な事・挑戦していることなど子どもの姿を見て、活かした活動を取り入れてみたり、素材の準備をしたりすることで、子ども主体で過ごすことが出来ていた。

（お助けマン）

- ・園の教育理念や方針について、普段あまり意識していないように思う。
- ・カリキュラム作りや指導計画には直接関わらないが、計画書には十分目を通し保育のねらいが達成出来る様補助に努めた。
- ・お助けマンとして補助に入るクラスの保育内容や計画を把握し、担任と同じ方向を向いて保育に携われるようにする。また保育をするにあたっての環境構成を今一度見直し、環境から子ども達が興味・関心を持てるような環境設定をしていく。
- ・どのような活動を計画しているか、クラスの先生と事前に話し合うことが出来たと思います。
- ・カリキュラムを話し合う都度に、その学年の子たちの姿に合わせたものを考えるように出来ているが、それを週末や月末に振り返る時間がもっと必要だと思った。
- ・好きな遊びに気持ちが向いていくように、手が届く所に玩具を置いたり一緒に遊んだりしながら遊びを広げていくことが出来た。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・子ども達から自ら生まれた遊びを時間をかけて、更に展開できるように心掛けた。
- ・環境を充実させられるような、下準備が出来る様にしていきたい。また、他の先生の保育から学べる時間があると良いと思う。
- ・環境構成にも注目し、子どもの好奇心を高める準備として、日々楽しみを見つけたり継続してやりたくなるような工夫をしていきたい。
- ・来年度に入る前に再度、理念や方針を見直し実践していく。
- ・幼稚園教育要領の活用。指導計画の見直しも、もう少ししたいと思う。

- ・幼稚園教育要領など把握出来ていない事もあるので、再読し理解を深めたいと思う。
- ・子ども達が自由遊び時、更に遊び込むことが出来る様に、廃材や布の切れ端など様々な素材を充実させ「やってみたい」という気持ちをより育てていくことが出来る様な環境を設定する。
- ・公開保育は引き続き行い、誰もが経験出来るようにしていきたい。
- ・保育者間の情報共有をこまめに行い、よりよい保育を計画・実行していく。
- ・自分のクラスだけでなく他のクラス、他の学年の子どもの姿も把握し、自他共に保育に活かせるよう話し合い、保育を計画していくことで、より良い保育へと繋げていきたい。

(お助けマン)

- ・今一度教育理念や方針の確認をしていきたいと思う。
- ・引き続き、教育理念が子ども達に浸透していくよう実践していく。
- ・担任との話し合い（報告・連絡・相談）の徹底と実行。教材研究と子ども達にとって、その瞬間に最適な環境設定の実施。
- ・去年度今年度とうめ組の補助をさせて頂き、うめ組は一人ひとりの発達の個人差が大きいので、指導計画の見直しの必要性を強く感じた。時間が許すなら、月末には話し合いの時間が持てるといい。
- ・自由遊びとなると玩具に頼ってしまうことが多かったが、クラスの先生と子ども達が今どのような遊びに興味を示しているかコミュニケーションをとり、廃材遊びや簡単な製作もどんどん取り入れていけたらと思う。
- ・カリキュラムを常に目に届く場所に置き週末には自分で目を通し、月末にはクラス内の先生と確認し合えるようにしたい。
- ・フリーで動くので応援に入って、そのクラスの生活・流れや保育者間の役割を聞き、連携して保育するようにしたいです。

2. 保育の有り方・子どもへの対応 (R4)

評価・反省

- ・子どものことを第一に考え、日々保育しようと意識している。
- ・常に子ども達と同じ目線で声を掛ける様、心掛ける事が出来た。
- ・否定的な言葉を肯定的な言葉に変換して、援助することを心掛けた。
- ・特定の子だけでなく、クラスの子・皆の今、興味を持っている事を把握したいと思う。
- ・安全面や子どもへの関わりを常に自分なりに意識することが出来た。
- ・子ども達の目線に立ち、保育をすることが出来たと思う。
- ・担任を持つ身としては、クラスの報告・連絡・相談は出来た。仕事内での、私語に気を付ける。
(清掃時など)
- ・常に一人ひとりを認め、それをクラスでも共有し互いに褒め認め合うクラス作りに徹した。
- ・事故や怪我がないよう配慮しましたが、おでこを縫う怪我が1件起こってしまいました。
- ・好きな事・得意な事に挑戦している事など子どもの姿を見て活かした活動を取り入れてみたり、素材の準備したりすることで、子ども主体で過ごすことが出来ていた。

(お助けマン)

- ・健康安全には配慮することが多いが、子どもの理解について深く考えていないように思う。
- ・フリーとして複数のクラスに単発的に入ることが多かった為、クラスや子どもの前日までの流れを把握できない事があり、補助の仕方に迷うことがあった。
- ・お助けマンとして色々なクラスに入るため、子ども達との関わりが広く、浅くなりがちな気がした。
担任のように広く、深い関わりを持てるようにする。
- ・長引くコロナ禍で、波がある中、常に視診を大切にし、細かい体調の変化にも気を配った。
- ・年間を通して同じクラスに入っていることが多く、そのクラスの子も同士の関わりは把握出来ていたが、他のクラスの子の関わりにも目を向けていかなければと思った。
- ・子ども一人ひとりの姿を、小さな成長や気になることを含め、先生同士で伝え合うことで、より理解出来たと思う。
- ・子どもが成長した点や印象的なやり取りなどを日々記録していたが、1つのクラスではなく、あちこちいくようになり、記録を取らなくなってしまった。

反省を基に来年度、改善・実行すること

- ・より一層個別理解が出来る様励んでいきたい。
- ・これからも異年齢交流を続けていけると良いと思う。
- ・子どもの衝動的な行動に対しては咄嗟に「だめ」など否定的な言葉が出てしまうことが有る為
今後も意識していきたい。
- ・今日「この子の遊びや興味に関わってみよう」と、自身で目標を決める。
- ・他のクラスとの関わりを、もう少し持てるといい(活動を通して)。
- ・園庭で遊んでいるとき夢中になってしまう為、周りを見て保育したい。
- ・年下とのクラスの交流は多くあったが年長児との交流が少なかった為、次年度の期待に繋げる
為にもカリキュラムを見直していきたい。
- ・お山での約束や危険・事故等に留意し、保育中の安全を守りたい。

- ・職員配置を徹底し、安全に配慮する。
- ・他学年の子どもと関わる機会が少なかった為、日々視野を広げ多くの子どもと関わり理解を深めていきたいと思う。

(お助けマン)

- ・各クラスの補助に入った際には、出来るだけ子どもを理解する。
- ・担任との連絡を密にし、現状の把握の上適切なサポートを行っていく。
- ・子ども一人ひとりの今の状態を把握し、その子にとって今一番大切な事を見極め、関わっていけるようにする。
- ・うめ組の戸外遊びを充実させてあげたいと考えるが、安全面を重視するとなかなか難しい。良い策を考案していきたい。(他の学年が室内に入ってから、戸外に出る事が現状)
- ・フリーとして視野を広くし、色々なクラスの子ども同士の関わりもみていかなければと思った。
- ・常日頃、視診を大切にしているが、マスク生活で登園時からの様子を確認しきれないことが有る為気を付けたい。
- ・常にメモ書きをする習慣を、身に付けたい。

3. 保育者としての能力・良識・適正

(R4年度)

評価・反省

- ・日頃から保育者（社会人）としての意識を持って過ごしています。
- ・話し合いをする際に、意見を発言する人とならない人がはっきりしていたように思う。
- ・時間や締め切りに遅れてしまうことが、多々あった。
経験が増えてきて、自分の意見を述べる事が出来る様になった。
- ・保護者様や子どもと関わる時は、常に明るく笑顔でを心掛けている。
仕事・提出物が期限日手前になってしまうことがあるので、前もって行動することを心掛けたい。
- ・保育者として自分なりに自覚を持って過ごした。今年度は体調を崩してしまうことが多く、申し訳なかった。体調管理をより気を付けたい。
- ・クラスの事・クラスでの心配な子など、園長先生に相談しながら保育を行えているので継続していきたい。
- ・子どもの声や心の合図に寄り添い、30人一人ひとりを大切に保育してきた。集団として個人として常に心を配って保育に取り組んだ。
- ・後輩指導が出来ているかどうか不安だが、頼もしい後輩が育ってきているように感じます。
- ・志都呂幼稚園の職員として、職員間で連携をとり過ごす事が出来た。
年数が上がった自覚を持てず、後輩指導に携わる事が余り出来なかった。

(お助けマン)

- ・保育者としての良識はあると思うが、プライベートにおいてもかどうかは不安が残る。
- ・給食配膳の際の手指・棚の消毒は入念に行い、衛生管理に努めた。
トイレ・水回りのこまめな清掃を心掛けた。
- ・子ども達の前に立つ人間として大人として鏡で有るように、意識して行動したが、対大人（特に職員に）は自分の意識が欠けていたり、低くなってしまうこともあったため気を付けたい。
- ・体調管理が自分自身気を付けていても、上手く出来なかった。時間を守る事が出来ない日があった。
- ・園庭や園内の清掃及び整理整頓（気づいた時に砂を履く、落ちているマスクを捨てる）を心掛けました。また、新入園児準備等、気づいて出来そうな事を探し進める事が出来ました。
- ・普段から生活習慣等、健康管理には気を付けているが、今年度は感染症にかかり職場にも迷惑を掛けてしまった。
- ・常に明るく元気で清潔感があるように、心掛けている。保育者全員と、毎日会話する様に心掛けている。
- ・事務者として幼稚園の発展について、学びを心掛けた。

(バス乗務員)

- ・健康面では常に食事等も気を付けていたのですが、コロナに感染してしまい園には迷惑を

掛けしてしまいました。

- ・バス常務を、都合で代わってもらう時に伝達不足な時があった。
- ・人より先に、挨拶したと思う。
- ・自覚を持った、行動を心掛ける。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・先輩保育者の意見を基に、自分の考え方を持つ。また、後輩指導にも気を付けたい。
- ・年数関係なく意見を述べられるような話し合いが出来る時間を、持てたら良いと思う。
上の人は勿論、下の年数の先生も意識を高く持てる様になるのでは。
- ・優先順位を考えて仕事に取り組む。後輩も増えてきたので、手本となるような人間（当たり前のことこそ大切に丁寧に取り組む）になる。
- ・何事も早め早めを心掛け、何日までに行うと余裕を持った期限を自分の中で計画して見通しを持って行動していきたい。
- ・体調管理。後輩指導も意識する。
- ・来年3年目になるので、後輩指導や話を聞くなどしていきたい。
- ・健康管理により一層気を配り、保育に邁進することが出来る様心掛ける。
- ・子ども達の幼児期の最も大切な園生活が心豊かに過ごせるよう、保育内容や環境・保育者の言動に気を付けていきたい。
- ・後輩職員の手本となることが出来る様に、言動に気を付ける。
- ・プライベートでも保育者として責任感のある言動を今以上に心掛けていく。
年数が上がることを自覚し、後輩指導を行うことが出来る様責任を持ち過ごす。

(お助けマン)

- ・なかなか感謝することを意識していないと思うので、敢えて言葉に出して相手に伝わるようにしていきたい。
- ・引き続き、清潔な環境づくりを実践する。
- ・自己の体調には自分で責任を持ち、無理をしすぎない事。後輩保育者たちの状況を見極め様々な事を経験してきた先輩保育者として、もっと後輩保育者と関わり一緒に仕事が出来るようにしたい（指導や援助も含めて）。
- ・日々の生活習慣を正したり運動不足を解消したりして体調管理に努め、健康に過ごせるようにしたい。常に5分前行動がとれるよう、時間にも気持ちにも余裕が持てる様にしたい。
- ・新入園児準備等、今年度の反省を活かしながら見通しを持って、また、広報の先生方と話し合い協力してやっていけたらと思いました。
- ・その時に流行っている感染症等を常にチェックし、それに対する感染の防ぎ方を都度確認して自分にならない、そして子ども達にも広がらないように最大限気を付ける。
- ・コロナ禍が続いている中、自分の体調管理に気を付け体力低下にならないよう常に働いていた。常に園内の清掃・整頓・安全性に目を配っていきたい。
- ・これからの園の在り方を学び、今後に役立てたい。

(バス常務員)

- ・今まで以上に健康には気を付けたいです。手洗いうがいは勿論、消毒も徹底して体力づくりもしたいと思う。

- ・自分にとっては当たり前のことで気付かないのだが、他の職員には伝えなければ分からない事も多いので、言葉掛けをしっかりやっていきたい。
- ・明るい笑顔で、人より先に挨拶をする。
- ・健康管理に注意し、業務に支障がないようにする。

4. 保護者への対応（R4年度）

評価・反省

- ・うめ組の保護者に毎日お会いする為、誤った発言や行動をしないように気を付けた。言葉の遣い方の難しさを感じた。
- ・特に問題なく、丁寧に対応出来たと思う。
- ・初めての事が多く、子どもと共に不安も有る保護者様に対して丁寧に関わる事が出来たと思う。
- ・保護者様からの要望・意見に対して共感したり自分で受け止めたりし、密に情報共有・連絡することが出来た。
- ・保護者様への対応は、なるべく園での子どもの様子等を伝えるよう意識した。発信が少なかった。
- ・ご意見を頂いた時など、上手く話を聞いたり助言することが出来なかった。
- ・保護者の方からのご意見は責任を持って受け止め、報告・対応が出来た。クラスだよりももう少し充実していた方がよかった。
- ・ブログに甘んじて、クラスだよりも二の次にしていた。
- ・保護者対応の面では、1年を通してこれで良かったのかな、と悩みました。
- ・保護者に対し、常に誠意を持ち対応することが出来た。来園された方に自ら子どもの様子等、会話をすることが出来たがそうでない保護者との関わりは少なかった。

（お助けマン）

- ・年少のクラスに入ってから、比較的な送迎の保護者と話す機会があり、園での様子を伝えたりすることが出来た。
- ・直接保護者と関わることは少なかったが、担任や伝達ノートから個々の家庭の様子の把握に努めた。
- ・子ども達の後ろには保護者の方がいるという事を常に意識して、対子ども達・対保護者の方と関わるようにした。
- ・子どもの様子や成長など細かな事でもお迎えに来た際に保護者に伝え、信頼関係づくりに努めた。
- ・お迎えの引き渡しや行事の際に、保護者様に子どもの様子を伝え、信頼関係を築く事に努めた。
- ・送迎のタイミングで毎日保護者の方と顔を合わせる機会が有る為、一日一日の子どもの様子を少しでもタイムリーに知って安心して頂けるよう努めている。
- ・子どもの様子を見ながら成長を感じた事など、保護者に伝えるようにした。
- ・子ども・保護者ファーストで取り組むことが概ね出来たと思います。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・保護者対応について学び、程よい距離感で良好な関係を築いていきたい。
- ・情報共有については細かいところまでは出来なかった様に思う為、園全体で共有出来るようノートの活用をしていきたい。

- ・伝言などすぐにその職員に伝え、伝達ミスがないよう職員全体で保護者からの信頼を得られるようにする。
- ・来年度は今以上に保護者や職員間の報告・連絡・相談を意識して取り組んでいきたい。
- ・クラス便りやブログの活用。
- ・ご意見を頂いての対応後、自分の言い方、伝え方が大丈夫だったか反省し次に生かしていきたい。
- ・クラス便りを活用し子ども達の日々の何気ない様子を伝えることで、保護者の方々に子どもの園生活をより身近に感じて貰う事が出来る様にする。
- ・なるべくクラスの様子をブログや便りで伝えていきたい。
- ・「この園に通っていてよかった」と思ってもらえるよう、保護者様と園での様子を共有していく。
- ・どの保護者に対しても自ら子どもの様子を積極的に伝えられるよう、電話・連絡帳・クラス便りを活用していく。

(お助けマン)

- ・これからもコミュニケーションをとり、保護者にも安心して預けられる園にしていきたい。
- ・園行事や送迎の際なるべく声を掛け、保護者の顔を覚え信頼関係を築いていく。
- ・クラスや学年関係なく子どもの様子を、ちょっとした事でも園で会った保護者の方に伝えられるようにしたい。担任以外の保育者も子ども達を見守っているという安心感を保護者のが感じられる様にする。
- ・引き続き子どもの様子など保護者の方に伝える事に努め、安心して幼稚園に預けてもらえるようにする。
- ・学年問わず、色々な子どもの様子を見て伝え、保護者様とのコミュニケーションを大切にしたいです。
- ・他のクラスの様子も少しでも覚えていることがあったら保護者の方に伝えられるようにしているが、それより出来る様にして園全体で一人ひとりの子を見守っていけるようにしたい。
- ・保護者の話をよく聞くようにする（保護者の心に寄り添う）。
- ・今まで通り明るく、親切に対応する心掛ける。

5. 地域の自然や社会との関わり

(R4年度)

評価・反省

- ・園の魅力について個人としてではなく、園の職員として伝える事が難しい。すくすくで緊張する。
- ・見学に来た方には明るく声を掛けることが出来たが、挨拶位の声掛けしか出来なかった為、もう少しコミュニケーションをとるように心掛けたい。
- ・電話等で質問に対し、園長先生を頼ってしまうことが多くあった。
- ・電話対応では質問に対して自身で考えて対応出来ることに対しても戸惑ってしまった。
- ・あまり自ら積極的に挨拶以外関わる事が、出来なかった。
- ・園に対する質問を事務の先生に委ねてしまうことが、多かった。
- ・見学者の方と積極的に挨拶を交わし、関わる事が出来た。
- ・すくすく教室のお陰で、新しい教材にも常にアンテナを高く持つ事が出来ている。
- ・すくすく教室で「先生の回、とっても楽しかったです」と言って頂けた事が、嬉しかったです。
- ・問い合わせに対し、自信が持てず確認してしまう事が何度かあった。

(お助けマン)

- ・歩きコースが無くなってからはなかなか地域の方と話すことが無くなったが、駐車場の誘導の際には近隣の方に挨拶を心掛けた。
- ・見学者や問い合わせの電話にも的確な対応が出来る様、必要な情報はメモにして携帯するようにした。
- ・来園者の方や外部の方との関わりは丁寧かつ、親切にを心掛けた。
- ・見学者・地域の方・すくすく教室で来園された方まで、丁寧な挨拶と笑顔を心掛けた。
- ・各学年のお便りは確実に目を通すよう心掛けていたものの、日程・持ち物の変更等の把握が出来ていないことがあったため、しっかり答えられるよう予定管理をしたいです。
- ・電話対応等で他学年の活動に対する問い合わせを受けた際、大まかな活動内容は分かっている面ですぐにお答え出来ない時がある。
- ・地域の方々や来園者の方など、挨拶を交わしていい雰囲気作りに努める事が出来た。質問等は、メモ書きとする。
- ・常に明るく、元気に挨拶を心掛けました。

反省を基に来年度実行・改善する事

- ・ 経験を重ね、自信を持って園をアピール出来る様になりたい。
- ・ 園の良さを分かって貰えるように、すくすく教室により一層力を入れていけたらよいのではないかと思う。(すくすく教室でこんな事をしたよ!のブログなど) 行ってみようかなと思うきっかけがあると、より良いと思う。
- ・ 園の魅力・方針を再度確認するとともに、自分自身が魅力の一部になれるよう保育に努める。
- ・ 電話対応での言葉遣いや対応の仕方を再度見直し、自信を持って話す事が出来るよう心掛ける。
- ・ 様子を見て声を掛けたり、案内したりして関わる。
- ・ 園のしおりを再読し理解を深め質問にも答えていきたい。
- ・ 園についての様々な質問に、より具体的に伝える事が出来る様にしていく。
- ・ 1号2号の認定について知識が乏しく、保護者に尋ねられてもしっかり応じられるか不安なので勉強させていただきたい。
- ・ すくすく教室では、より来園者に楽しんで頂ける出し物を考え実行する。
- ・ もう一度園の方針・決まり事等確認し、自信をもち答えられるようにする。
地域の方々に対し挨拶だけでなく会話を心掛け、より地域間の繋がりを持てるようにする。

(お助けマン)

- ・ 来園される見学者やすくすく教室でのお客様には、積極的にコミュニケーションをとっていきたい。
- ・ 相手の要件を的確に聞き、漏れの無いよう担当者に引き継ぐ。
- ・ すくすく教室には全職員が順番で参加し、より園の事を知ってもらえるようにしたい。
園全体の事を把握出来る様、常に情報をキャッチ出来るアンテナを立てているようにする。
- ・ 園の見学者に、園の方針・特色を的確にアピールすることが出来る様務める。
- ・ 今後もすくすく教室に来られた方や地域の方には、明るく笑顔で対応していきたいと思えます。
- ・ 打ち合わせノートをチェックする際、スケジュールノートにメモを取るだけでなく考えながら頭に入れて流れを確認する。
- ・ 地域の自然を感じられるよう、散歩に出掛けたい。
- ・ 引き続き、地域の人に愛される園にしたい。

6. 研修と研究(R4年度)

評価・反省

- ・使った事がない教材が、いくつかあった。
自分で調べたり、先輩に聞くなどして活用していきたい。
- ・研修の学びの場を大切にし、自分の知識に取り入れる事が出来た。
もっと自ら学ぶ姿勢が、必要だと思う。
- ・研修では様々な分野の知識や実践方法を教えて頂き、取り入れる事が出来た。
園の遊具や教材の利用方法ももっと知っていきたい。
- ・体調を崩してしまったこともあり、研修に参加出来る機会が少なくなってしまった。
- ・研修委員として公開保育を行ったり研修にも参加しているので、今後も生かしていきたい。
- ・自ら研修に参加したり、専門書を読むことは出来なかった。
研修で学んだ事を、自分の保育に取り入れる事が出来た。
- ・令和4年度は夏休み期間に多くの研修に、参加させて頂き大変勉強になりました。
対面の研修は、リアルな声が聞けて他園との交流も出来て本当に学びになります。
- ・研修で教えていただいたビニール（三角形の物を繋ぎ合わせたピラミッドの様なもの）の家を作ったり、カプラを保育内でも活用しました。
- ・実践出来る内容の研修を行った後、なかなか実行出来ず後回しにしてしまう事があった。

(お助けマン)

- ・夏期研修など出来る機会には参加させて頂き、保育者として学ぶべきことが沢山あった。
- ・夏の研修に参加し、時代に即した保育について学ぶことが出来た。
園内研修ではアレルギーや危機管理等、園の実情に合った内容の研修を深める事が出来た。
- ・日常保育の中で研修に参加するのはどうしても担任の先生がメインになってしまうので、行ってみたいと思った研修には自ら参加出来るようにしたい。
- ・今年度は夏の乳児研修に積極的に参加し、自分自身とても勉強になったり改めて自分の保育を見直す機会となった。
園内研修のAED・アレルギー研修は、繰り返し学ぶことで身につけている。
- ・預かりで遊びがマンネリ化していることもあったため、SNS等で情報を集め、簡単な製作を取り入れる様心掛けました。
- ・教材室にある保育教材も、大型絵本や紙芝居・パネルシアター・エプロンシアター等、よく利用するものもあれば全然出来ていない物が有る。
- ・園内研修には積極的に参加している。子ども達と一緒に楽しめるような講座に参加している。
- ・幼稚園制度について、もっと理解を深めたい。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・未使用の教材に触れ、子ども達に披露していく。
- ・放課後の時間をもう少し活用出来たら時間が生まれ研修などの意識向上に充てられると思う。
(バスコースを見る人数を見直すなど)
- ・与えられた学びだけでなく、自分に足りないもの、学びたい事に積極的に取り組んでいきたい。

- ・自分から園に有る遊具や教材の利用方法に対して先輩保育者に聞き、積極的に活用していきたい。
- ・研修の機会を大切に、学びたいと思う。
- ・園の遊具・教材についてもっと知識を増やしていきたい。
- ・保育の質を高める為、積極的に学び保育に取り入れていく。
- ・令和5年度も出来るだけ多くの研修（なるべく対面もしくは現地の研修）に参加させて貰いたい。学びがあつてこそ良い保育が生まれるし、良い保育をしたいと思う熱意が子どもの成長に繋がると思います。
- ・自分の知識を増やすためにも、積極的に研修に参加し学んでいく。
- ・研修を行って終わるのではなく、その後行動に移すことで研修で学んだ内容を自分のものにしてより発展させられるよう心掛ける。

（お助けマン）

- ・折々に参加出来そうな研修には、積極的に取り組んでいきたいと思う。
- ・研修で学んだことを消化して、自分の保育に取り入れていく。
- ・少しずつだが外へ出た研修の機会も増えてきたので、参加したい。
また、園内での研修もより、深い研修が身に付けられるようにする。
- ・自分から勉強する気持ちも忘れず、学んだことは日常で活かせるよう努力していきたい。
- ・子どもの興味に沿った遊び、製作を取り入れられるよう様々な所から情報招集していけたらと思います。
- ・教材室にある保育教材をしっかりと見に行き、使ったことがない物からやり方を確認して利用してみる。
- ・学んだことを保育の中でどんどん取り入れ、遊びを広げていきたい。
- ・反省をふまえ、誰よりも理解するように心掛けた。

安全な運転・業務について

評価・反省

- ・バス降ろし忘れ事件が有ったので、今まで以上に安全には注意するようになりました。
- ・マスクをしていると顔色など、体調不良などを見逃すことがある。
- ・安全運転で運行出来たと思う。
- ・健康管理に注意。予測運転し、周囲の安全確認。車内の動きにも注意。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・バスの中の安全面は勿論、乗車場所等危険がないかも一度見直してみて変更すべき所は変更していきたいと思います。
- ・普段と違う様子などがあつたら声を掛けるなど、徹底していきたい。
命を預かるという責任をこれからも大切に安全を心掛けていく。
- ・楽しい車内で安全な運行をしたいと思う。
- ・感染症の予防の為、車内の清掃とアルコール等での消毒。
車内閉じ込めを防ぐため、再度目視で確認。

令和5年1月20日
志都呂幼稚園 園長 平松伊早子

志都呂幼稚園学校評価委員会

◎保育をご覧になって

- ・子どもの様子
明るく、元気よく、楽しんで、自分らしく過ごしているなと感じます。
1人1人の子どもをしっかりと尊重しているという印象を受けます。
- ・保育者の様子
 - ・挨拶
いつも明るく朗らかにご挨拶頂き、元気をいただいています。
 - ・笑顔
マスクをいいても分かる程の満面の笑みであると常に感じています。
- ・子ども達に対する接し方
1人1人の子どもたちと丁寧に接していることが本当に素敵だと思います。
子どもたちの目線になり、しっかりとお姿を見ながら接して下さっていると思います。

◎環境について

- ・各教室の壁面
各担任の先生の個性が溢れ、どのクラスも見ていて面白かったです。
- ・玄関廊下など
いつも綺麗になっていると感じます。外遊びが大好きな園であるのに、石だらけ...
ということもなく、掃除が行き届いていると感じます。

◎その他のご感想

いつ来園しても活気溢れる志都呂幼稚園!!
志都呂幼稚園の子どもたちを見ていると、日本の未来は明るいな♪ そんな素敵な
幼稚園! 今後も応援していきます。

本日はお忙しい中、ご来園いただきましてありがとうございました。

皆様から頂きましたご意見・ご感想を、今後の保育にぜひ生かしていきたいと思っております。

令和5年1月20日
志都呂幼稚園 園長 平松伊早子

志都呂幼稚園学校評価委員会

◎保育をご覧になって

- ・子どもの様子
どの子ども笑顔で楽しく活動していた。たくさん話かけてきてくれて、誰とでも仲良くでき、園生活が楽しめているのが伝わりました。
- ・保育者の様子
 - ・挨拶 こちらに気付くと元気に笑顔で挨拶して頂けるので、こちらも自然と笑顔になれます。(周りの子ども達もその様子を見ているからか、元気に挨拶してくれます)
 - ・笑顔 何をしても明るい笑顔で、そのおかげで園全体がとても良い雰囲気だと思います。
- ・子ども達に対する接し方
同じ視線で話をして、笑顔しそれぞれの子どもを尊重している、1人1人に寄り添う感じが、とても素晴らしいと思います。

◎環境について

- ・各教室の壁面 イベントまであと何日、というような子ども達のやる気、頑張りを引き出す装飾や、子どもたちのお手紙、絵などがステキに掲示されていて良かったです。
- ・玄関廊下など 整理整頓されていて、気持ち良く利用できると思います。安全面にもつながるので、とても良いと思います。「右側を歩く」ことなど注意が必要な箇所に貼ってあるのも良かったです。

◎その他のご感想

園長先生をはじめ、先生方の子ども達への愛情がとても良く伝わりました。子ども達と一緒に楽しんでいる先生方も、すごく素敵で、だから子どもも安心してのびのびしているのだな、と感じました。職員研修も様々なこととされていると知り、保護者も子ども達も安心して毎日を過ごせるのも先生方の意識の高さと、努力のうねりに成り込んでいるのだと実感しました。

本日はお忙しい中、ご来園いただきましてありがとうございました。

皆様から頂きましたご意見・ご感想を、今後の保育にぜひ生かしていきたいと思っております。